

患者さんおよび職員の負担軽減のための取り組み-3

安心・安全な医療を提供するために 徹底的にこだわった院内配置と情報システム。

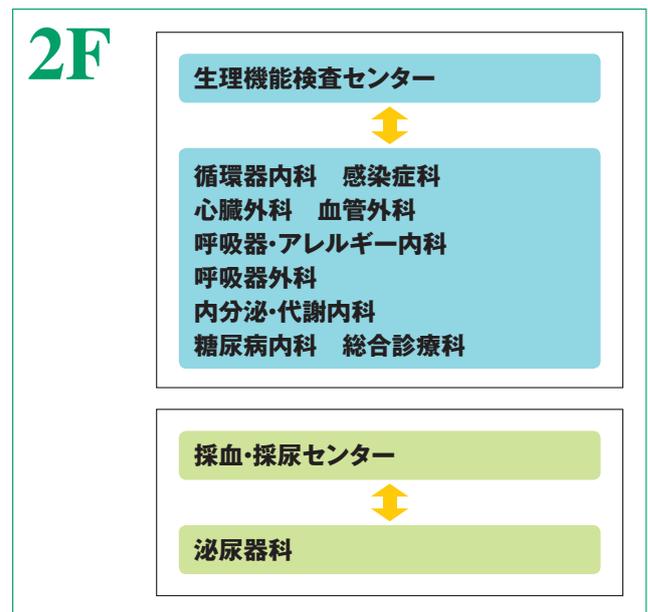
外来診察室と関連中央診療部門の集約化

- 関連の深い外来の診療科間や中央診療部門（検査室、センターなど）を近隣配置しました。
- 患者さんにとっては移動距離・待ち時間の短縮、お体への負担軽減に繋がり、安心・安全に受診いただけるようになります。また限られた生活時間を最大限有効に使っていただくことにも繋がります。
- 医師、看護師、検査技師、事務職員などの医療スタッフにとっては業務負担の軽減となり、高水準な医療を効率的に提供することにも繋がっていきます。

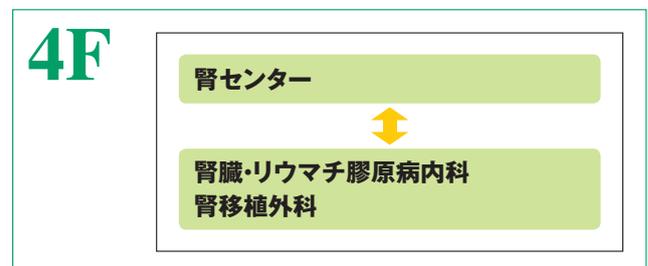
3F



2F



4F



5F



モバイル端末

- 500台のモバイル端末を導入し(380台を医師中心に利用)、医師がどこからでも患者さんの状況を把握できる仕組みを作り上げ、医師の業務効率化、負担軽減を図っています。

各科専用電子カルテ

- 電子カルテシステムにおいて、診療科の専門性に応じた画面を作成。ラジオボタンやプルダウンといった簡単入力できる方法を取り入れ、カルテ記載の負担を軽減しています。